

平成22年度オープンドリーム事業 チャレンジカヌーツーリング

1. ねらい

国立大洲青少年交流の家では、昭和51年度より肱川を利用してのカヌー研修を導入し、カヌー研修事業等をととしてカヌーを愛する人々が増加し、当所を核としてそのカヌー活動の輪が広がる活動を続けている。そこで、当所が所有しているカヌー200艇を活用し、水に親しむとともに、地域の活性化や清流「肱川」の美化を図る。

2. 実施日

平成22年9月19日(日)

3. 活動場所

肱川

4. 参加対象・参加者数

親子26組53名 中高生41名 一般27名

5. 講師

大洲市カヌー協会・国立大洲青少年交流の家所員

6. 日程

9:00 9:30 10:00 12:30頃到着予定 13:00 13:20

集合	受付	開会式	カヌーツーリング	閉会式	解散
----	----	-----	----------	-----	----



7. 活動内容

秋晴れの空の下、参加者やスタッフが祇園大橋上流の河川敷に集合し開会式を行った。所長をはじめ、来賓の方々のあいさつの後、いよいよカヌーツーリングのスタートである。

参加者121艇、カヌースタッフ26艇の総勢147艇が肱川に浮かんだ。少し練習してから、10時05分スタート地点を出発した。スタート早々、瀬張り(鮎取りの仕掛け)があったものの、スタッフの適切な対応で無事乗り切ることができた。ゆったりとした肱川の流れに乗り、さわやかな風を感じながら水面から眺める景色は格別であった。また、約150艇が川幅いっぱいになってくる様子は壮観であった。参加者の中には、まっすぐ漕いでいるつもりでも、なかなかうまく前に進まず苦労していた人もいたが、カヌー協会スタッフの根気強い指導のおかげで、だんだんうまく漕げるようになった。後半は、向かい風で白波が立ち、前に進みにくい状況になったが、がんばって漕いでいくことができた。休憩地点の大和大橋で、バナナと飲み物を摂り、長浜大橋(日本最古の開閉橋)へ向けてラストスパートである。12時30分頃、長浜大橋の開閉部分が開きはじめ、その下を先頭集団が通り過ぎていった。向かい風に苦労しながら、約10kmの距離を漕ぎきった参加者の多くは、大変疲れていたものの満足した表情を見せていた。カヌーの片づけが終わった参加者は、清掃活動を行い、人工物のゴミはなくなってゴール地点の海岸はとってもきれいになった。閉会式の後、記念撮影を行い解散した。

参加者の層が広く、技量や体力の差があり、先頭と最後尾では一時間以上も開いてしまうなどの課題はあったものの、参加者及び運営スタッフともに大きな達成感を得た心に残る一日となった。